



## 「写真編/見る記録」

大阪市民はもとより、遠方からも多くの人が集結し、川と水辺の魅力を五感で体感し、水の都大阪を再生しようという機運が高まりました。熱く開催された「水都大阪2009」の52日間を4つのサブテーマに分けて、写真でつづります。

### 1 水辺にアートが開花する、大阪の文化がよみがえる

来訪者とアーティストが一体となって、水辺に新しい文化を創り出しました。過去から現在、そして未来へと水都大阪の財産を育み伝えていきます。

### 2 光が世界に発信する、水都の魅力と美しさ

夢と光の浮島へと変貌した中之島、ライトアップされた大阪の新しい夜景。昼とは全く様相を変える幻想的なシーンに、人々の心が癒やされています。

### 3 市民がつくる、水を楽しむ、元気な大阪

市民自らが活力あふれる「まちづくり」をめざし、川や水辺とどのように付き合っていけばいいかを探り、大阪に対する思いや愛を具体的に表現します。

### 4 水辺を活用した新しい「賑わい空間」の創造

時代とともに姿を消した水辺の営み、ビルの谷間に埋もれた文化。点在する大阪の魅力を、水の路でつなぎ、にぎわいあふれる都市再生を図ります。





●「噴水」打ち上げ式（八軒家浜会場隔木前）左から橋下委員、平松会長、下妻副会長、安藤総合アドバイザー

水の都・大阪の復興を目指すシンボルイベント「水都大阪2009」の開幕を祝うセレモニーとして、平成21年8月21日、前夜祭が中之島公園特設ステージで華やかに行われた。午後6時、会場いっぱいに響き渡る和太鼓パフォーマンスを皮切りにスタート。続いて水都大阪2009実行委員会会長 平松邦夫大阪市長、橋下徹大阪府知事が主催者挨拶を行った。前夜祭セレモニーには、主催関係者、メディア、地元代表、協賛企業招待者ら多数の方にご参加いただき、終始和やかな雰囲気の中、無事終了した。

その後、舞台は八軒家浜会場に移され、平松会長、下妻副会長、橋下委員、安藤忠雄総合アドバイザーによる「噴水」打ち上げ式が行われた。最大放水距離60m、高さ20m、毎分2.2tの水量を誇る大噴水は、「水都大阪2009」の大テーマである「水」を象徴する装置。折から降り出した雨にもかかわらず、オレンジ色にライトアップされた噴水が、中之島公園剣先から大川に向かって力強い弧を描いた。

プレスレビュー



●北川フラムプロデューサーによる「水辺の文化座」ミニツアー

前夜祭セレモニー  
(中之島公園会場特設ステージ)



●和太鼓パフォーマンス（石坂女士）



●主催者代表挨拶 平松会長



●主催者代表挨拶 橋下委員



●演奏（三田村管打団?）



●水都体操（キスヒサタカと体操ガールズ）



●手形作成、写真撮影（平松会長、下妻副会長、橋下委員）



●ファンファーレ・バルーン放天（八軒家浜でも同時に放天）



●八軒家浜 水都朝市リバーカフェ

水都大阪2009オープニングセレモニー



●大阪ジュニアバンドによるオープニングアトラクション



●関西4政令指定都市市長による水都大阪2009開幕宣言



●デッキテラス「川舞台」での交流

八軒家浜船着場

船着場プログラム  
オープニングリレークルーズ



●移動（木津川ウォールペインティング鑑賞）

平成21年8月22日午前10時、水辺の文化座で大阪ジュニアバンドによるオープニングアトラクションが始まった。平松邦夫大阪市長の主催者挨拶に続いて、門川大作京都市長・木原敬介堺市長・矢田立郎神戸市長が挨拶。関西の政令指定都市市長が一丸となって、関西が元気であることをアピールするべく、4市長による水都大阪2009開会宣言が行われた。ここに52日間にわたる「水都大阪2009」がいよいよスタートした。

ファンファーレ、イベントのシンボルカラーである青と白のバルーンが放天された後、4市長は取材陣とともに、中之島ローズポートより船に乗り込み、4つの船着場をリレークルーズした。船着場ではプログラムのオープニングに参加、地元住民とも身近に触れ合い交流を図った。



●大阪ドーム千代崎港でのテープカット

大阪ドーム  
千代崎港



●リバーカフェ

湊町船着場



●タンデム自転車の試乗



●戎橋



●太左衛門橋船着場 船上ステージ

本町橋船着場（暫定）



●本町橋船着場

太左衛門橋船着場



## 水辺の文化座

「水辺を楽しむ100の方法」と銘打った体験型アートプログラム。大小7棟の仮設小屋や竹の架構オブジェに覆われた広場を中心に、全国から結集した170組以上ものアーティストが、毎日、日替わりで五感を刺激するユニークなワークショップやパフォーマンスを展開した。工房での制作参加などを通じ、多年代にわたる市民が、川と水辺を楽しむ時間を共有。中之島公園の週末は、いつも子どもたちの歓声が響き渡っていた。



### Artist factory つくるところ

市民交流・協働作業の実験工房。不用になった身の回りのものを再利用してリサイクルを体験したり、アーティストと一緒に、会場を飾りつけながら自分たちの手で風景を変えていく作業を体験した。



### Workshop あそぶところ

ゲームをする、ものをつくる、からだを動かす、音を出すなど、多数のワークショップ(体験型アートプログラム)を開催。来訪者に交流・協働・学び・発見・遊びといった様々な新しい体験の場を提供した。

### Artist factory つくるところ

#### 1 かえるシステム かえる工房

※連携アーティスト・団体: 福永田、かけし+ハコプロ、komameworkshop

#### 2 KOSUGE re-port ~ポートを待ちながら スキン工房

※連携アーティスト・団体: 龍郎堂本店、宇野万斎、凸&凹 飯田英樹、JIN YAMATORA

### Workshop あそぶところ

#### 1 かえるシステム かえっこ屋

※連携アーティスト・団体: 社団法人大阪府建築士会、中崎透、三家綾一郎

#### 2 KOSUGE re-port ~ポートを待ちながら AC-中之島

※連携アーティスト・団体: 社団法人大阪府建築士会、中崎透、三家綾一郎

#### 3 KOSUGE re-port ~ポートを待ちながら 水辺のスポ研

※連携アーティスト・団体: 大阪府ドラゴンボート協会、鈴木真吾、つるむde大阪、佐藤いちろう

#### 4 KOSUGE re-port ~ポートを待ちながら すいとん

### かえるシステム

藤浩志: 1960年鹿児島生まれ。パプアニューギニア国立芸術学校講師、都市計画コンサルタント勤務を経て自らの制作工房を構える。「地域資源、適正技術、協力関係」を基盤としたジャンルにとらわれない活動の企画・制作を試みる。

### KOSUGE re-port

KOSUGE1-16(こすげいちのじゅうろく): 2001年、車田智志乃と土谷享によって結成されたアーティストユニット。アートが身近な場所で生活を豊かにしていくことに重点をおき、インスタレーションやプロジェクトを行う。



### Workshop あそぶところ

- 5 アートベースナル 水路 一曲水の宴ー
- 6 愛知県立芸術大学デザイン専攻 柴崎幸次、細川修 ダンボール遊具で遊ぼう!
- 7 浅井裕介 植物のじかat中之島
- 8 アトリエズガ ワークショップ部門 大っきな紙に絵をかいて、折り紙をしよう!
- 9 安部泰輔 泳げ!ぬいぐるみ
- 10 新井英夫 川辺のからだらポ ーほくして奏でる気持ちイからだー
- 11 荒木珠奈 ちょうちん船で船遊び
- 12 池田光宏 スウィート・ホーム・ダイニング 「中之島食堂」プロジェクト
- 13 石垣克彦 つながるライン水都大阪2009 「1po2ho散歩」
- 14 石坂玄士 太古の記憶!〜踊るリズムワークショップ〜!
- 15 磯崎道佳 パラシュートとマキオ
- 16 稲垣智子 あなたはわたし わたしはあなた
- 17 ima インフォメーション
- 18 岩淵拓郎 中之島PLAY100 ~中之島でiPodを聴く日、
- 19 岩村原太 観光会
- 20 岩下徹 即興ダンスの体験
- 21 植松琢磨 どうぶつつわ
- 22 うたたね 小鳥の巣箱ワークショップ
- 23 浦田尊恵 おてがみかきどころ
- 24 榎本寿紀 GYOGYO(ぎょぎょ)ー水になって布と戯れる
- 25 海老沢一仁 ウキウキお魚釣り
- 26 エメススキ いっしょにおどろうう
- 27 社団法人大阪府建築士会 みんなでカオポ!
- 28 大阪文化調査隊 大阪の橋をつくらう
- 29 大阪ものづくり塾 水彩アート 土のうでポン!
- 30 音遊びの会 ワークショップ
- 31 笠間浩幸+こども環境研究会関西 プレイフル・サンドアート
- 32 佳山隆生 水辺のぬり絵展「夢之島を描こう」
- 33 キスヒサタカ 水都体操 おもひづくりWS
- 34 きたまり コドモのびのび、カラダであそぼう!
- 35 NPO法人キッズデザイン協議会 「こどもOS研究会」 こどもOSをみんなで体感しよう!
- 36 鞍掛綾子 GAGA/people
- 37 黒子さなえ あそびからマイダンス
- 38 NPO法人芸術環境計画 丸木舟をつくって森に遊(かえ)ろう





Workshop あそぶところ

- ③ 佐野隆+渡辺優香  
ゆらゆらぶかぶか
- ④ さをりひろば  
みんなで作るさをり織りの龍神様
- ⑤ サントリーホールディングス株式会社  
サントリー「水育(みずいく)」  
わくわくワークショップ
- ⑥ 清水寛子・平野治明  
「光り、漂う」絵のワークショップ
- ⑦ 隅地葉歩  
ボディ・コンディショニングという  
新しい習慣
- ⑧ 関野宏子  
中之島の「ぬし」をつくらう!
- ⑨ 関典子 岸本吉弘 &  
神戸大学発達科学部人間表現学科  
舞踊ゼミ絵画ゼミの学生達  
らくがきダンス:ハルーンをつくらう!
- ⑩ 造形実験カラス  
(加藤ひろし、加藤良将、神村昇作、石松丈佳)  
意外にきれい!水の美しさを体験する  
ワークショップ
- ⑪ NPO法人ソーラー版画協会 みやち治美  
お日様が刻む水都おおさか09
- ⑫ 橘宣行  
プラモデルでリサイクルアート
- ⑬ 法政大学国際文化学部 稲垣立男研究室  
中之島ゲーム
- ⑭ マスダマキコ  
中之島 ミズドリ製作所
- ⑮ 松村泰三  
「光の箱」をつくらう!
- ⑯ 水内貴英  
川を身につける
- ⑰ 光島貴之  
音の街・さわる街・見る街
- ⑱ 谷山恭子  
みんなの森
- ⑲ 中川真+佐久間新・Rofit Ibrahim  
ワークショップ「中之島ワヤン」
- ⑳ 西尾美也  
ことばのかたち工房
- ㉑ ばうみみ  
ばうみみ四コマ漫画ワークショップ!
- ㉒ 萩野美穂  
自分の風景をつくらう!
- ㉓ 林加奈  
かつてにコロボ研究会
- ㉔ 林正夫  
テン・セン・アー  
かみはともだち
- ㉕ 原朝里  
空を泳ごう!手作り風鈴
- ㉖ 原倫太郎  
リミックス・ワードin水都大阪2009
- ㉗ 日比野克彦  
THE SEEDS TRIP「種は船」  
大阪丸造船プロジェクト
- ㉘ 森美香代  
意識を育てるダンスワークショップ
- ㉙ 安川晶子  
体にダンスの栄養を
- ㉚ 大和川レコード×米子匡司  
ジュンケイ
- ㉛ NPO法人ライフスキル研究所  
水の都・大阪から世界へはばたく1・2・3!
- ㉜ レインボー岡山  
「レインボーマン・スイト」誕生!
- ㉝ wah  
チャンススペシャルワーク
- ㉞ 和歌山県  
紀州・木の国・木材ブロック体感ゾーン
- ㉟ 渡辺彩  
取り戻そう!川の中の妖精



Communication はなすところ・みるところ

対話と鑑賞、交流と学びの場。水都大阪の歴史やまちに関わる人々、専門家によるトークショーやレクチャーを開催。また、環境を活かした多様なアート作品が会場のあちこちに設置され、水辺の楽しみを盛り上げた。さらに、ダンサーや大道芸人、パフォーマンス・アーティストが神出鬼没で会場をにぎわした。

Communication はなすところ・みるところ

- ① アートフル千成福華  
プロジェクト実行委員会  
アートフル千成福華プロジェクト
- ② iop都市文化創造研究所  
水辺夜話
- ③ 池上恵一+真下武久  
Astoro Body
- ④ 井上信太  
サファリパークプロジェクトin中之島
- ⑤ 今西玲子×AKI UEDA×evala  
SOUND QUEST 第一話 ~LOOP~
- ⑥ 井村隆  
KARAKRIN で island
- ⑦ 岩下徹+慧奏  
ダンス・パザールin中之島
- ⑧ ウミ下着×玉那覇プラスクインテット  
ダンス・パザールin中之島
- ⑨ EGG  
EGG LIVE
- ⑩ EXPERIMENTAL 3  
日独仏実験映画上映〜『都市と水』〜
- ⑪ NPO法人大阪アーツアボリア  
クロストーク 水辺で表現すること
- ⑫ 大阪アンサンブル振興会  
みんなでうたおう  
〜アカベラストリートイベント  
"TRAST" in水都大阪2009〜
- ⑬ 小沢剛  
人力噴水
- ⑭ オフィス サイレガシー  
サイレガシーが演出する  
書家や市民による「書」の現代  
アートパフォーマンス
- ⑮ 開発好明  
発泡苑
- ⑯ 加藤治男 アトリエまあん  
大阪阿弥陀橋 ダンス・デ・ワタリヤンセ
- ⑰ 金子良/のびアネキ  
川辺にまつわるエトセトラ
- ⑱ KIKIKIKIKIKI×Pao  
ダンス・パザールin中之島
- ⑲ クリーンブラザーズ  
もうひとつの川
- ㉑ 栗林隆+coceworks  
小さな屋台
- ㉒ 月眠×ゲートオブドラゴン  
ウォーター・マーフリング
- ㉓ NPO法人こえとことばとこころの部屋  
(コロールム)、むすび  
アートのくねくね道  
〜イギリスのホームレスオペラや  
釜ヶ崎の紙芝居劇の事例から考える  
アートの仕事、社会との関わり
- ㉔ ゴールドフィンガーズ  
ゴールドフィンガーズ「禅問答ライブ」  
してかすさんといっしょ「してかす!水辺の  
行楽列車」「まぼろし!してかす商店」
- ㉕ ソカ・タルナ  
楽団と物語、そして影絵と音楽  
『ジントラ・パニユ・チャハヤ』
- ㉖ 高田雄平  
高田雄平による「水都に巨龍昇る」  
現代アートパフォーマンス
- ㉗ サカキマンゴー &  
リンパトレインサウンドシステム  
リンパの音色音色(おといることいろ)、  
二人二色(ふたりふたいろ)
- ㉘ CA大森章永  
千の手in中之島
- ㉙ してかすおともたち  
してかすさんといっしょ「してかす!水辺の  
行楽列車」





**■食の文化座**  
水辺の文化座内には、食の都・大阪をテーマにした期間限定の飲食スペースも登場。「つかの間レストラン」ではアーティストによるパフォーマンスも同時に開催された。また、多国籍の食の屋台「水辺のバザール」については、建築家によって特別にしつらえられた「フレーム&フレーム」という建築物が空間を演出した。

**食の文化座**

- graf
- ① PLAY!SURVIVAL  
～つかの間の野外レストランとその出来事
- ② 堀田裕介
- ③ Emer
- ④ neco眠る
- ⑤ 片桐功敦
- ⑥ タダオと横沢
- ⑦ テイストオブフォークロアラウンジオーケストラ
- ⑧ 二名良日
- ⑨ 樋口寛人
- ⑩ 子供鉦人
- ⑪ チャンキー松本
- ⑫ リュクサンブル公園
- ⑬ ムッシュ・シグリード

● 日本建築家協会近畿支部住宅部会  
⑭～⑯ フレーム&フレーム

**Communication はなすところ・みるところ**

- ① チャンキトルネエド  
chanchiki tornade 落日のバレード
- ② 中高年ミュージカル劇団  
NPO法人発起塾  
ミュージカルにのせて! 5カアップ講座
- ③ つるむde大阪  
つるむdeちやりんこピックバン!
- ④ 西沢みゆき  
新聞女による「水都に新聞女襲来!」  
現代アートパフォーマンス
- ⑤ 今西玲子×ニッポン・ガールズ  
SOUND QUEST 第二話 ～水辺の宴～
- ⑥ 根岸和弘  
風を見る～Wind-mill 3000
- ⑦ Haco + 田尻麻里子  
Electronics Live Performance
- ⑧ Hamana H  
晩秋に響くアフリカの鼓動
- ⑨ 原高史  
138人の小さなノート
- ⑩ パラモデル  
パラモデリック・モータープール
- ⑪ バル・フレナック  
MENNONO マンノ
- ⑫ 東野健一  
楽団と物語、そして影絵と音楽  
『ジンタ・バニュー・チャハヤ』
- ⑬ ひきたま&ドゥン・ドゥンサラサ  
リンパの音色言色(おといることいろ)、  
二人二色(ふたりふたいろ)
- ⑭ ビッグ・ビッグ・バンド  
ビッグ・ビッグ・バンド @水都大阪2009
- ⑮ 藤浩志  
かえるトーク Osaka na Plants
- ⑯ フレイレフ・ジャンボリー  
楽団と物語、そして影絵と音楽  
『ジンタ・バニュー・チャハヤ』
- ⑰ 堀尾貞治+現場芸術集団「空気」  
あたりまえのこと
- ⑱ 本間純  
ウォーターモービル水の中の鳥
- ⑳ 松本秋則  
水辺の音楽
- ㉑ 丸山純子  
天ぶら狂詩曲・パーティー
- ㉒ 三田村管打団?  
三田村管打団? コンサート
- ㉓ みなみどりん  
～水都2009バージョン～  
みなみどりん☆リズムカーニバル
- ㉔ 山村幸則  
「銀杏男」「銀杏女」
- ㉕ 淀川テック  
金チヌ
- ㉖ remo[NPO法人記録と表現と  
メディアのための組織]  
おかけんたと観る「あのごろ」の風景  
～8ミリフィルム鑑賞会大阪特集～
- ㉗ ソンシ・アフリカ  
晩秋に響くアフリカの鼓動

★ 芦澤竜一建築設計事務所  
竹で組まれた大架構空間「BAMBOO FOREST」と、  
その周辺に配置された7つの小屋は、  
建築家・芦澤竜一設計によるもので、  
水辺の文化座を象徴する大仕掛けの一つ。  
様々なプログラムやワークショップと  
絡み合いながら、毎日のように会場を変化  
させ続けてくれた。

**■中之島公園以外での展示・イベント**

広いスペースを必要とするものや、演出空間にこだわる、いくつかのイベントについては、中之島公園を離れ、それぞれにふさわしい場所を借りて行われた。

**中之島公園以外での展示・イベント**

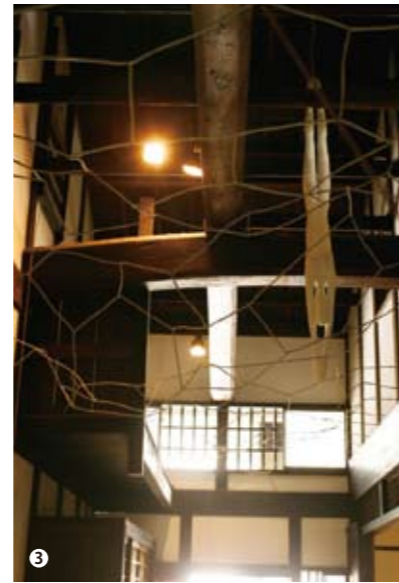
- ① 磯辺行久  
わたしとぼくの水都大阪
- ② 大阪ええはがき研究会  
水都deええはがき!
- ③ 酒百宏一  
なにわの海の記憶
- ④ 新世界ゴールデンファイナンス、檸檬  
ダンスクルーズ
- ⑤ NPO水都OSAKA水辺のまち再生プロジェクト  
水辺ナイト2009
- ⑥ 田辺朋宣  
水都deええはがき「偶像の友達」
- ⑦ 水嶋一江+  
ストリンググラフィ・アンサンブル  
「ストリンググラフィ・アンサンブルコンサート&ワークショップ」  
～絹糸と紙コップがつくり出すとも不思議なコンサート～







## 水都アート回廊・アート船プログラム



### ■水都アート回廊

中之島周辺の水辺にある、近代建築や歴史的空間など市内10カ所を選び出し、建造物と現代美術のアーティストがコラボレーションした作品を展示。アート散歩しながら、大阪が蓄積してきた都市資産や歴史を再発見できる、これまでにない試みで、これにより会場の回遊性が増した。施設により定休日はあったものの、連日、昼の休み時間や仕事帰りにアートを楽しむ、サラリーマンの姿も多く見られた。

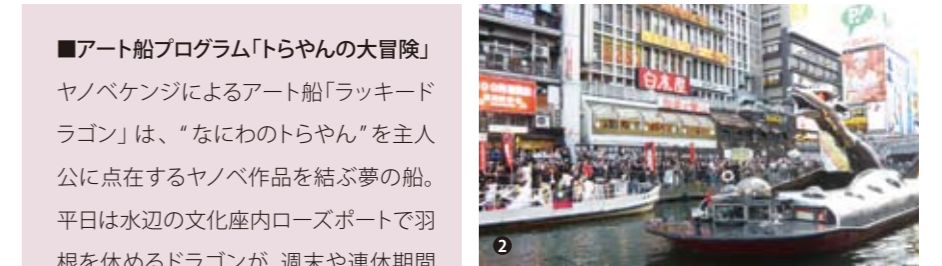
### 作品展示場所

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <p>① 大阪証券取引所ビル<br/>大久保英治<br/>気一森の水</p> <p>② 芝川ビル<br/>河口龍夫<br/>【関係—大阪】水の北斗七星、<br/>横たわる杖、消えた川、太陽の点</p> | <p>③ 適塾<br/>今村源<br/>葺的熟考</p> <p>④ アートエリアB1<br/>ヤノベケンジ<br/>タンキング・マシーンほか<br/>⑤ 大阪府立中之島図書館<br/>ヤノベケンジ<br/>森の映画館</p> | <p>⑥ 大阪市役所<br/>ヤノベケンジ<br/>ジャイアント・トラヤン</p> <p>⑦ 日本銀行大阪支店<br/>河口龍夫<br/>【関係—大阪】水に杖をつく時</p> <p>⑧ 朝日新聞ビル・大阪朝日ビル<br/>元永定正・中辻悦子<br/>ななころびやおき おどろきとわらい</p> |
|--|--|--|



### 公共工作物とのアート・コラボレーション

- ⑨ 福島港(ほたるまち港)  
ジョセフ・マリア・マルティン  
Ocean current of memory - what do you believe?  
(記憶の海流—あなたは何を信じるのか?)
- ⑩ 京阪中之島線換気口(大江橋~中之島駅間)  
祐成政徳  
Bridges



■アート船プログラム「トラヤンの大冒険」  
ヤノベケンジによるアート船「ラッキードラゴン」は、“なにわのトラヤン”を主人公に点在するヤノベ作品を結ぶ夢の船。平日は水辺の文化座内ローズポートで羽根を休めるドラゴンが、週末や連休期間には中之島を飛び出し、大冒険に出かけた。時には、ゆっくりと鎌首を持ち上げ、雄叫びとともに火炎を放ったり、勢いよく水を噴くなど勇壮なパフォーマンスを見せながら、子どもたちの夢をのせて水都を縦横無尽に駆け巡った。



① 火を噴く「ラッキードラゴン」  
② 水の回廊を巡航

※なにわのトラヤン  
ヤノベワールドのメイン・キャラクターで、大阪生まれ、世界育ちという設定。「子どもたちが未来もサバイバルできるように」という願いが込められている。

ヤノベケンジ: 1965年大阪生まれ。大型機械彫刻作家。腹話術人形「なにわのトラヤン」をキャラクターにした作品などを制作し、国内外の展覧会出品や、美術館所蔵作品も多数。「美術とは目で見える哲学」という見解を、卓越した妄想力と技術によって表現する。

### ■水都大阪2009記念シンポジウム ～「遊びをせんとや生まれけむ—水都大阪の再生～」

9月22日、大阪市長をはじめとするゲストや多分野で活躍する専門家たちをパネリストに招き、リーガロイヤルホテル大阪で開催された。「河港・大阪と市民社会」「大阪固有の文化・歴史」「地域固有の表現(アート)の現在と未来」などをテーマに討議を行い、水都再生に向けた今後の大阪の方向性を探った。

主催: 大阪大学 水都大阪2009実行委員会

テーマと討議内容:

#### ■セッション1 河港・大阪と市民社会

人・モノ・情報の集積地として発展してきた水都・大阪の歴史と現在を、市民社会・アジアへ繋がる港湾都市・環境都市、といった様々な視点から紐解き、「大阪の地政学的ポテンシャル」と「水都再生への道筋」を探った。

#### ■セッション2 大阪の市民力・文化力—アートが都市をかきまぜる!

文化、アートの現場で活躍する実践者を国内外から迎え、「大阪の市民力・文化力アップ」にアートが果たす役割を語り合い、「水都大阪2009の意義」を問いかけた。

出演者(順不同):

阿部武司(大阪大学大学院教授)・磯辺行久(アーティスト)・伊東信宏(大阪大学大学院准教授)・オウ・ニン(アートディレクター)・大谷博(DANCEBOX Executive Director)・尾田栄章(国連・水と衛生に関する諮問委員会委員)・北川フラム(水都大阪2009プロデューサー)・金水敏(大阪大学大学院教授)・小浦久子(大阪大学大学院准教授)・下條真司(大阪大学教授)・ハーヴィ・シャピロ(大阪芸術大学教授)・ジェフリー・ヘインズ(オレゴン大学アジア太平洋研究センター長)・榎昇(アーティスト)・永田靖(大阪大学大学院教授)・橋爪節也(大阪大学教授)・平川秀幸(大阪大学准教授)・平田オリザ(劇作家)・平松邦夫(大阪市長)・福田知弘(大阪大学大学院准教授)・松本雄吉(劇団維新派主宰)・水内俊雄(大阪市立大学教授)・ヤノベケンジ(アーティスト)・吉見俊哉(東京大学大学院教授)・齋田清一(大阪大学総長)





橋梁ライトアップ



大阪の歴史を物語る3つの橋をライトアップ。難波橋と天神橋はメイン会場である中之島公園に架かる橋であり、夜の景観とにぎわいづくりの演出として実施した。また、錦橋は平成20年12月のフェスティバルホールの建て替えのための閉館を受け、その文化・芸術の灯りを受け継ぐ象徴として実施した。

橋を照らし出す光のアートと川面のゆらめきは、夜の散策やクルージングの新たな魅力を増幅。水都大阪ならではの水辺の景観を、未永く楽しんでもらえるよう、3橋のライトアップは会期後も継続されるプログラムの一つである。



錦橋

① 橋梁側面は水をイメージした青でライトアップ、さらに水面からの反射によるゆらめきが一体となって美しさを倍増させる。  
② フェスティバルホール閉館前の錦橋。

難波橋

③ 重厚な石造りの高欄などを自然な光で際立たせるとともに、南北の橋梁下部を「光のトンネル」として照らし、歴史と現在が交差する。

天神橋

④ 天神祭の灯りをテーマに、橋梁の側面をオレンジ色の灯りで照らし出した。灯籠をイメージした光が、橋梁のエッジを彩り、川面に美しいゆらめきを演出する。

ナイトプログラム「水の回廊 時空の架け橋」

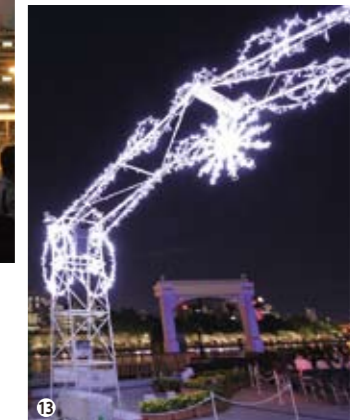


八軒家浜会場内には「時を刻む柱時計」「川をまたぎ都市を結ぶ橋」をデザインテーマに、高さ5mのシンボルオブジェを設置した。昼間は都市を結ぶ橋として会場のランドマークに。夜間は「時空を旅する子どもたち」をテーマにした美しい映像がウォーターカーテンに映し出され、噴水や霧、音楽がシンクロする幻想的なショーが繰り広げられた。ショーは1回約10分、月曜日を除くほぼ毎夜4~6回上演。橋梁ライトアップや灯りプログラム、大噴水が美しい中之島公園とともに、水都大阪の夜を彩るプログラムとして多くの人たちに楽しんでいただいた。

※会期中201回上演、約56,000人が鑑賞



シンボルオブジェのショーと連動して、会場を盛り上げたのがイルミネーションアーチ。まるで白い星が集まってできたようなファンタジックな光が、ショーに訪れた人たちの頭上にやさしく降り注いだ。



シンボルオブジェと光のショー

⑦~⑩ 映像タイトルは「時空を旅する子どもたち」。ウォーターカーテンは、大川の水を汲み上げてつくられた。

イルミネーションアーチ

⑪~⑬ ミスト装置も設置され、暑い時期の来訪者には、格好の夕涼みとしても好評を博した。





## 灯りプログラム

日が落ちると「つながる灯り」「つくる灯り」「いろどる灯り」の3つのテーマに基づく灯りプログラムで、中之島公園会場は光あふれる異空間に変貌。アーティストによるものや、市民参加による多種多様な灯りが、昼とは全く異なる幻想的な風景を創り出した。驚き・感動とともに、川面に反射する美しいゆらめきで、見る人の心をあたたかく和ませた。なお「つくる灯り」「つながる灯り」には、事前に大阪市内の16校・約2,600名の小学生の協力・参加を仰いだ。



### ■つながる灯り(環境演出型)

来場者に大阪や水に対する願いを書いてもらったお札が、夜空を彩る「ツリーライトアップ」。高速道路の橋桁の裏側に、水の映像やアニメーション映像を映写した「ハイウェイムービー」。竹のアーチに飾られた約10,000個の短冊型「ミラーチップ」には、子どもたちの夢や願い事がつづられている。昼は風になびいてキラキラと揺れ、夜は様々な灯りを乱反射する美しいイルミネーションとなった。

**■つくる灯り(参加型)**  
中之島公園会場の水辺の文化座を埋め尽くした「希望の灯り」。会期前には大阪市内の小学校で授業の一環としてのワークショップを行ったほか、会期中は会場内のワークショップに来場者も参加して行灯を制作した。みんなで作った一つ一つの小さな灯りが、巨大な地上絵を描き出す「水都大阪灯明2009」など、大きな風景をつくり上げる感動を共有した。

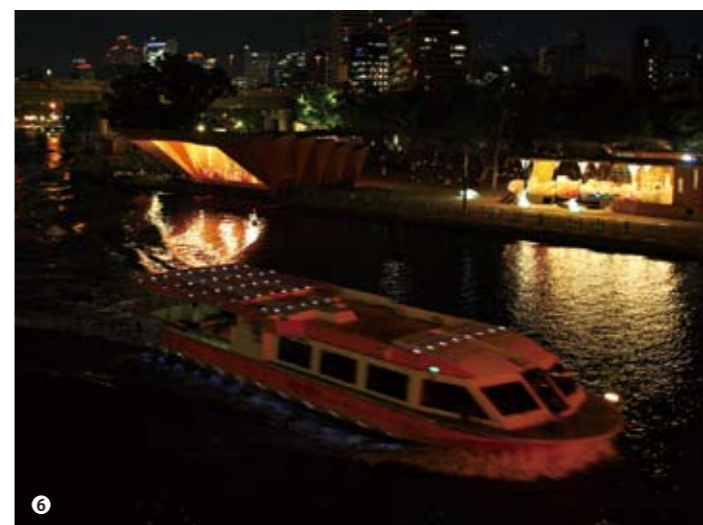


### つながる灯り(環境演出型)

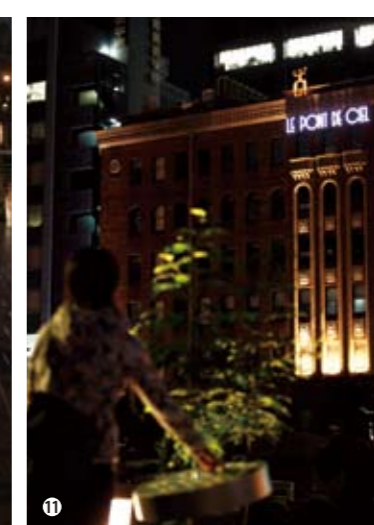
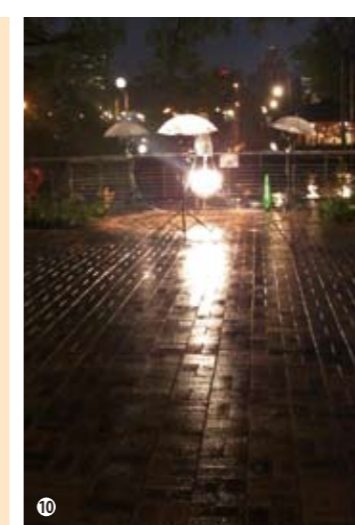
- E-DESIGN
- ① ミラーチップイルミネーション
- ② ツリーライトアップ
- ③ ハイウェイムービー

### つくる灯り(参加型)

- ④ iop都市文化創造研究所  
希望の灯り  
・思いを描く子どもたち
- ⑤ 尾方孝弘  
水都大阪灯明2009  
・灯明による地上絵



**■いろどる灯り(作家型)**  
各地で活躍しているユニークなアーティストによる光の芸術作品が集まり、期間限定で灯り・光の演出を展開。これまでに見たこともない、感動的でちょっと不思議なミュージアムが水都大阪に出現した。



### いろどる灯り(作家型)

- ⑥ 逢坂卓郎  
クイーンリバー Luminescence
- ⑦ 武田高明  
音燈華
- ⑧ 平野治朗  
GINGA—水都漂流—
- ⑨ 木村崇人  
星の木もれ陽プロジェクト
- ⑩ 笹岡敬  
REFLEX 2009
- ⑪ 長谷川仁  
みんな何やってんの?
- ⑫ 樽昇 (RADIKAL\_DREAM)  
ひかりぶねワークショップ





## 水辺の社会実験-1

川と水辺空間の新しい楽しみ方や水辺の活性化を提案する“社会実験”は、市民の方々から公募したプログラム。シンポジウムや展示をはじめ、創作楽器を使ったコンサート、ファッションショーなど、40を超える多彩なラインナップが選ばれた。「市民が主役」という言葉通り、市民自らが企画から当日の運営まで主体的に取り組んだ。



■大阪市中央公会堂  
川をよみがえらせる活動報告や、親子で参加するもの、手づくり感あふれる演奏会などが行われた。特に、子どもたちが中心になる企画では、元気な歓声が中央公会堂いっぱいにこだました。

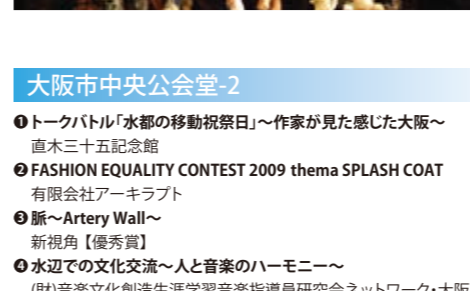


### 大阪市中央公会堂-1

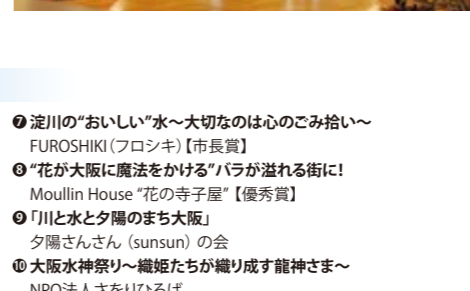
- ① 全創作楽器によるコンサートと講演「川と文明と未来の音楽」  
三木俊治とエコロジーオーケストラ
- ② 「見て、聞いて、感じて夢を水都に」  
～でっかい会場で、ちいちゃな子どもの井戸端会議～  
近木川流域自然大学研究会
- ③ 親子で水都なまづくり  
NPO法人こども盆栽

- ④ みんなで描(えが)こう!空想のさかなたち  
Maladroite
- ⑤ 川の風景～淀川水系と地域のつながり～  
琵琶湖・淀川流域圏連携交流会
- ⑥ 食材としての川魚から見た淀川の魅力  
淡水魚ミュージアム「雑魚寝館」

- ⑦ 大好きOSAKAあふれる笑顔～すい～とめもり～ず～  
社団法人大阪青年会議所 子どもの笑顔創造委員会
- ⑧ 小・中学生1日記者体験～水都大阪2009取材してみよう～  
みんなの経済新聞ネットワーク・大阪
- ⑨ 子どもフォーラム「創ろう、見つけよう、わたしの水都」  
NPO法人芸術環境計画



- ⑩ トークバトル「水都の移動祝祭日」～作家が見た感じた大阪～  
直木三十五記念館
- ⑪ FASHION EQUALITY CONTEST 2009 thema SPLASH COAT  
有限会社アーキラプト
- ⑫ 脈～Artery Wall～  
新視角【優秀賞】
- ⑬ 水辺での文化交流～人と音楽のハーモニー～  
(財)音楽文化創造生涯学習音楽指導員研究会ネットワーク・大阪
- ⑭ アルハープのしらべ～音楽と水都大阪  
Aru(アル)
- ⑮ 阪大生によるドキュメンタリー映画  
「中之島に賑わいは生まれるか」  
大阪大学ビジネスエン지니어リング演習チーム



- ⑯ 淀川の“おいしい”水～大切なのは心のごみ拾い～  
FUROSHIKI(フロシキ)【市長賞】
- ⑰ “花が大阪に魔法をかける”バラが溢れる街に!  
Moullin House “花の寺子屋”【優秀賞】
- ⑱ 「川と水と夕陽のまち大阪」  
夕陽さんさん(sunsun)の会
- ⑲ 大阪水神祭り～織姫たちが織り成す龍神さま～  
NPO法人さりをりろば
- ⑳ 淀川付け替え100周年記念シンポジウム  
淀川付け替え100周年記念シンポ実行委員会事務局  
水都の会房太郎プロジェクト
- ㉑ Tourbillon 水辺のリサイクル・ファッションショー  
Tourbillon 水辺のリサイクル・ファッションショー実行委員会【優秀賞】

★ Creative Osaka, not only funky:「音楽」と「CAFE」で  
創造都市を楽しむ  
都市政策研究機構

★ おかえりカーネル  
奇しくも2009年3月、24年ぶりに道頓堀川から引き上げられた  
カーネル・サンダースも応援に駆けつけてくれた。





## 水辺の社会実験-2

市民の力が集結した「水辺の社会実験」は9月19日、水上劇場に設けられた「水辺のにぎわいフェスティバル」特設ステージでのオープニングにはじまり、中之島公園や八軒家浜を中心とした4拠点でにぎやかに繰り広げられた。会期の5日間は、暦上の5連休、しかも晴天にめぐまれたおかげで、子どもから年配の方まで多くの人々が訪れ、連日にぎわいを見せた。



### ■水上劇場とその周辺

美しく整備された水上劇場とその周辺では、自然の風や光と触れ合いながらのユニークな試みが行われた。



### 水上劇場とその周辺

- ① 少年少女「羽衣」うたい隊2009  
財団法人山本能楽会
- ② 水と風と緑のパーゴラ  
水と風と緑の大阪
- ③ 遊んで川をきれいに!!EM団子まつり大会!!  
遊んで大阪の川をきれいにする会【優秀賞】
- ④ 太鼓でわっしょい!!水都でどんどこ  
NPO法人雅夢(がむ)
- ⑤ 「淀の葦船」の組み立て・淀川くだり  
水都の会葦船プロジェクト
- ⑥ 伝統音楽を水辺で聴こう  
天つ風
- ⑦ 水都をまもれ!エーヤンダー5  
A-yan!!関西をアートで盛り上げるNPO

- ⑧ 水都の宴  
日本民謡 隆勢会
- ⑨ キラキラ輝く水辺でキラキラ輝く子どもの笑顔  
大阪市人形劇連絡会
- ⑩ 水辺の賑わい〜鍵ハモ♪フェス&吹奏楽体験  
ハーモニーまちづくり研究会



■八軒家浜船着場  
川の意義を考え直す展示、生態系を完成させる浮島の設置、水と直接触れ合えるボート体験などが行われた。



### 若松の浜

- ① エコボートで水辺体験  
アクアスタジオ【優秀賞】
- ② なに輪祭り〜みんなで一つになろう水都大阪〜  
NPO法人夢乱舞

### ■若松の浜

中央公会堂の北東に位置する若松の浜では、川から景観を眺め非日常的な水辺の世界を体験できるエコボートなどが楽しめた。

### 八軒家浜船着場

- ① おおきに淀川 すこいぞ淀川  
淀川三十石船舟歌八軒家浜保存会
- ② ツール・水の回廊〜ドラゴンボート市民水上ウォーク  
大阪府ドラゴンボート協会【知事賞】
- ③ 体験 天満橋〜錦流し橋 ドラゴン渡し船  
大阪の子どもたちを水辺に誘う会
- ④ 「ふるさと淀川物語:大川編」  
NPO法人関西ナショナル・トラスト協会
- ⑤ 住民と行政が一緒になって、川を守り、育てていく  
淀川管内河川レンジャー
- ⑥ 中之島浮島プロジェクト  
(展示+説明会) 大阪トマソン  
(浮島本体) 大阪まちなみサーベイ

※複数の会場にまたがって行われたプログラムもありますが、ここではいずれか一つの会場に掲載しています。  
※来場者などの評価が高かった企画には賞が授与されました。





## 船着場プログラム(地域協同企画)

船着場がもつ「陸と川の接点」という空間特性を活かし、訪れるすべての人に、まちと川両方の魅力を楽しんでもらうことを目的に「水の回廊」沿いの4つの船着場(本町橋、太左衛門橋、湊町、大阪ドーム千代崎)で実施。公募によって選ばれた5団体が、地域と連携・協同し、船着場をより日常的に使う楽しみめるプログラムを実施した。

### 1 大阪ドーム千代崎港(アドブトリバー千代崎)

◎実施団体: 千代崎連合振興会  
◎タイトル: 川には空と緑と石があります

平成17年からアドブトリバー制度により木津川河川敷の美化・緑化活動を続けてきた千代崎連合振興会が、「都会に住む子どもたちの自然観の向上につながることを」を目的に、地元の小学生や園児が描いた絵を“吹流し”にして空に掲げたり、全国の珍しい石の展示、リバーカフェなど様々なプログラムを展開した。



●石の展示



●自然との触れ合い



●リバーカフェ



●吹流し



●タンデム自転車の試乗会



●つるむdeツアー看板



●つるむdeセミナー・キックオフ座談会

### 1 大阪ドーム千代崎港ほか

◎実施団体: つるむde大阪  
◎タイトル: 船着場から人とまちをつむぐ自転車イベント  
船着場や「水都大阪2009」の会場、市内各所をつなぐレンタサイクルや自転車ツアー、試乗会など、自転車を切り口にしたイベントを展開。舟運事業者とタイアップした新しい自転車のコース開発など、自転車の多様な楽しみ方や可能性を伝えるとともに、自転車マナーや不法駐輪問題を考える場ともなった。



●つるむdeツアー



大阪ドーム千代崎港



湊町船着場

### 2 湊町船着場

◎実施団体: ミナミジャズウォーク実行委員会  
◎タイトル: 船着場ジャズライブ&ジャズクルーズ

「ジャズ発祥の地・大阪ミナミ」から、ジャズで水都大阪を盛り上げていこうという趣旨で実施。湊町ならではの水の景を眺めながら楽しめる船着場でのジャズライブ、かつて屋形船で演じられた「芸者たちのジャズ」を現代風にアレンジしたジャズボートなどで、大阪らしい飾らないジャズがあふれるまちを演出した。



●ジャズボート

堂島川

土佐堀川



小型船で船着場を巡る「船着場ネットワーククルーズ」。8月29日、9月13日、9月26日に運航した。

### 4 本町橋船着場(暫定)

### 4 本町橋船着場とその周辺

◎実施団体: 東横堀川水辺再生協議(eーよこ会)  
◎タイトル: eーよこ

川・まちを元気にするプロジェクト

川を活かしたまちづくりに取り組むeーよこ会が、まちなかの水辺の楽しみ方を提案した。船着場北側の公園に川が見渡せるデッキテラス「川舞台」を設置して、コンサートなどを実施したり、地元小学生等が制作した巣箱を東横堀川沿いに設置するなど、水辺に関心を高め、その魅力を再発見する機会を提供した。



●デッキテラス「川舞台」クラリネットの夕べ



●鳥の巣箱づくりプロジェクト



●デッキテラス「川舞台」夜ヨガ

### 3 太左衛門橋船着場とその周辺

◎実施団体: 実行委員会「総衆ミナミ」  
◎タイトル: 大阪ミナミ水都祭り

戎橋筋、心斎橋筋、宗右衛門町、道頓堀の4商店街が結成した実行委員会「総衆ミナミ」。ミナミの商人が案内する「ミナミあきんど案内所」、リバーウォークでの軽飲食の提供、壁画パネルへの絵画等の展示、船上結婚式など、多彩なプログラムを実施し、集客の可能性を探るとともに、道頓堀川の空間特性や可能性を再認識する契機となった。



●ミナミまちアートギャラリー



●ミナミあきんど案内所



●ミナミまち店イートイン



●ビッグバンドジャズフェスティバル



●大阪検定ミナまちラリー&ウォーク



●とんぼりプレミアム・ライブ



## 大阪ステキ発見

大阪の魅力を再発見するために、大阪府内でステキと感じる場所やモノ、コトなどを、写真と短い文章の両方で表現し、応募してもらう市民参加プログラム。2008年10月から2009年5月にかけて募集し、総数841点もの作品が寄せられた。全応募作品から、審査員により102点の「ステキ作品」を選定、さらに、これらの中から6点を特別賞に決定した。

四季折々お馴染みの風景、長年大阪に住んでいても知らなかったユニークな場所、大都会が見せるちょっとした悲しい横顔など、様々な世代が見て感じて撮った大阪の「ステキ」が集まった。全作品は撮影地域に分け、特別賞受賞作品とともに、八軒家浜会場内の「川の駅はちけんや」において会期中順次展示した。



●表彰式風景(2009年9月19日、水上劇場にて)



●展示風景(川の駅はちけんや)



### 【特別賞入選作品・入選者】(敬称略)

○大阪市長賞:中村幸雄



大阪市浪速区 難波八阪神社  
幼い姉妹が大きな獅子の顔をながめている所を撮りました。

○大阪府知事賞:中原文雄(組写真)



大阪府岸和田市積川町  
牛滝川添いの集落  
阪和自動車道、岸和田和泉ICの近くに、中村主水や長谷川平蔵に会いそうな集落がある。未だロケ地候補には登録されていない秘密の場所である。近くの稲葉町にはすばらしい造り酒屋の屋敷がある。



大阪府岸和田市岸城町 通称へび道  
「岸和田城内武家屋敷と蛇道」城の鬼門方向に位置し、香室坂(刑場跡)につながるこの道の歴史は古い。屋でもうす暗いこの道を近所の子供達はおそれている。



大阪府岸和田市本町 紀州街道の屋並み  
岸和田城二ノ丸から西側をみた風景である。海に近い城下町を満喫させてくれるこの風景が、子供の頃から大好きだった。

○審査員賞(北川フラム審査員選定):中西康治



大阪市大正区 大正内港はしけ棧橋  
つづく海 おじいの島へ 今日もまた汗も涙も 水面にとけて

○審査員賞(橋爪紳也審査員選定):堀内勇



大阪府吹田市千里万博公園 万博公園「太陽の塔」  
万博記念公園「太陽の塔」をスクリーンに見立て、何万ものパターンで描写されるデジタル映像はクリスマスプレゼントのイベントとして定着して欲しいものです。故岡本太郎氏も一緒に楽しませてもらったように感じました。

○審査員賞(織作峰子審査員選定):田口周平(組写真)



大阪府交野市私市  
大阪市立大学付属植物園  
「晩秋の特別席」  
メタセコイアの落ち葉の中にあるベンチ。二人で座って、夕陽が落ちるのを、しばらく見てみたいです。



大阪府交野市私市  
大阪市立大学付属植物園  
「メタセコイアの語らい」  
夕陽を受けて、メタセコイアの木々が、最近の冬は暖かくなったと話しています。

○審査員賞(江弘毅審査員選定):井上修一(組写真)



大阪府枚方市 淀川  
京阪枚方市駅から、わずか数分歩いただけとは思えない光景が広がる枚方・河川敷は、子供たちが手軽に安全に自然と触れあえる場所として、私のお気に入りです。



大阪府枚方市 淀川  
芝生が広く川風が心地よい淀川河川公園。初夏のすがすがしさを写真にしてみました。子供たちは注文したわけではなく、勝手に転がって遊んでいました。

### その他の【ステキ作品入選者】(敬称略・順不同)

麻田秀子、石井信夫、稲内麻由美、今西雅也、岩崎彩、上原弘士、魚野真史、宇佐美春男、江川友美、大坂 府、太田美香、大竹佳世、奥田顕博、桶田悠介、桶田梨紗、尾崎まこと、鬼崎昌人、籠嶋唯、金岡明光、金子信之、川井敏生、木下正治、木村恒一、久保早岐、窪田龍二、小池誠、小椋吉隆、児玉大三郎、古東由哉、佐井秀樹、さかたつひこ、酒井彩郁、笹井健一、佐藤彩子、佐藤菜々子、霜田恒治、杉本俊介、鈴木真生、住田大地、高田麻稚、高柳淳一、田辺吉徳、谷口博、弦川樹、徳光真、飛山光弘、長沢秀光、中島理紗、長田幸則、永田良介、中司典聖、中 弘晶、長畑秋夫、中村未央、西池勝太郎、西河好二、西口哲平、西窪勇人、西谷樹美、西谷実花、野田菜摘、野村一郎、裕勝博、長谷川睦、林稔、原田恵一、平井晴奈、平井祐範、平尾賢二、平岡茜、藤田奈美、府内陽子、船戸章、本間隆司、前田美有紀、松浦貞女、松本末子、港彩貴、港大智、三好帆南、山田大作、山田康世、山田幸孝、吉田尚弘

匿名希望4名





## 水都朝市リバーカフェ

八軒家浜や福島港・大阪市中央卸売市場前港の河川敷に並んだマーケットやカフェ、会場間をつなぐシャトルボートによって川辺に新しいにぎわいが生まれ、多くの家族連れやカップルが水辺の魅力を満喫した。また、八軒家浜船着場では、大阪の食の要・大阪市中央卸売市場の新鮮な野菜・果物・加工品などを乗せた船が着岸し、船着場で販売するという水都大阪らしい朝市が開催された。



■朝市/船に積み込まれた採れたての物産は、左右にビル街を眺め、いくつもの橋をくぐり抜けて八軒家浜船着場に到着した。売り手と買い手との間に交わされる巧妙な駆け引きは、大阪ならではの風情。所狭しと並べられた新鮮な野菜や果物、海産物は、またたく間に完売した。



### 朝市

開催期間：8月22日・23日・30日、9月20日、10月11日

- ① 季節の食材を満載にし、八軒家浜船着場へと風を切る船。
- ②③④ 八軒家浜船着場で行われた朝市の様子。
- ⑤⑥ 10月11日に福島港で行われた朝市。大阪市長、大阪府知事も参加した。



■マーケット&カフェ川辺に誕生したマーケットでは、各地の特産品や大阪の名産品を販売。オープンカフェは、小スペースながらも市民がゆるやかな時間を楽しめる憩いの場となった。マーケット&カフェは、八軒家浜の他、福島港・大阪市中央卸売市場前港でも開催された。また、マーケット&カフェの3会場を結ぶシャトルボートも運航(運航日：8月22日・23日・30日、9月20日、10月11日)。約1,300人が乗船した。



## 北浜テラス(大阪川床)

「大阪に川床を」という思いで活動を続けてきた地元の建物所有者・テナントやNPOとともに作り上げてきた「北浜テラス」。爽やかな川風、川を行き交う船や中之島公園の豊かな緑や近代建築の眺めは人と川との距離をより近づけた。2008年秋と2009年春の2回の試験実施と本実施の実績を受け、会期終了後は「常設化」も実現。地元協議会が直接行政から河川占用の許可を受けるスキームは日本初の取り組みとして注目されており、官民協働の水都大阪の新しい風物詩として期待される。



### マーケット&カフェ

開催期間：2009年8月22日～31日、9月19日～23日、10月10日～12日

- ⑦ マーケット&カフェ(八軒家浜)
- ⑧～⑩ 各地の特産品や大阪の名産品を販売するマーケット。

### 北浜テラス(大阪川床)

開催期間：2009年8月22日～

- ① そば切り てる坊
- ② カジュアルレストラン OUI
- ③ 泉州旬味 十六夜 北浜店
- ④ 北浜テラス設置店 立看板

※川床：かわゆか。川に張り出すように設けられた納涼のための棧敷。料理を楽しみながら涼しさを味わう。





## クルーズ & ウォーク / OSAKA 旅〇〇 (おおさかたびめがね)



いつもと違うメガネで見れば、新しい大阪がたくさん見えてくる。大阪の楽しさ無限大!

「クルーズ & ウォーク」はまちあるきと船による川巡りを融合させた水都大阪の魅力を満喫できるコースを、地元の人がまち案内人(エリアクルー)となって案内するという、これまでにないユニークなプログラム。

まちに住んでいるからこそ知っている、とっておきの「まちネタ」を交えながらのまち案内は、ガイドブックには載っていないリアルでコアな大阪を楽しめると好評で、多くの旅〇〇(たびめがね)ファンを生み出した。会期終了後も水都大阪発のコミュニティビジネスとして継続していく。



エリアクルーの旗に

先導されて、

大阪をミクロな視線で観察。

発見と感動があふれる粒よりの

ミニツアーが揃った。



## 定期プログラム

土日祝を中心に毎週実施。水の回廊を巡るクルーズ付、軽食おみやげ付、体験付など、いずれも魅力あふれる16エリア17コースのまち歩きプログラムが実施された。

### 1 大阪城

#### 船から陸から楽しむ大阪城ツアー

道頓堀から乗船し、船と陸から大阪城を巡る。見る角度は もちろん、その日の天候によって刻々と変化する城の表情は意外に新鮮。大阪名物たこ焼き体験も、このコースならではの醍醐味であった。

4月~



### 2 天満橋

#### アートと音楽の丘 ギャラリーめぐり

このまちには、何となく気になるけれど、一人でドアを開くのはちょっと気後れしてしまいそうな、個性派ギャラリーが点在。でも、エリアクルーの案内付なら、アートフルなまちを存分に満喫してもらえたはず。

4月~



### 3 道頓堀・難波

#### 定番エリアのさらに奥ツアー(昼編)

昼夜を問わず雑踏が絶えないのが、このエリア。地元に通じたエリアクルーだけが知っている、ちょっとした穴場も紹介してもらって、ミナミの魅力を再発見できたという声も多く聞かれた。

4月~



### 4 道頓堀・難波

#### 定番エリアのさらに奥ツアー(夜編)

海外からも多くの観光客が訪れる大阪一の繁華街。巨大な看板がひしめき合い、カラフルなネオンが道頓堀の水面にゆらめく様子は、いかにも大阪の風情。そんな夜のミナミのそぞろ歩きを楽しんでもらった。

4月~



### 5 鶴橋・桃谷

#### コリアタウン キムチ作り体験ツアー

迷路のような国際マーケットにはチョコリや韓国食材のお店が所狭しと並び、アジモニ(オバサン)たちの元気な売り声をあとに、コリアタウンまで足を伸ばし、キムチ作りも体験してもらった。

4月~

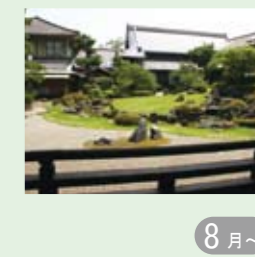


### 6 寺町

#### 大阪の寺町 座禅体験ツアー

寺町はその名の通りいくつものお寺が並び、連なる土塀の向こう側には、日本情緒あふれる静かな世界が待っていた。座禅体験や日本庭園でのお抹茶体験には、若い女性の姿も多く見られた。

8月~



### 7 新世界

#### 大衆ワンダーランド満喫 新世界ツアー

新世界と言えば、通天閣にジャンジャン横丁。スマートボールの店をのぞいたり、居並ぶ串カツの店をチェックしたり…。近年は観光地としても人気の高いエリアで大阪の庶民の味を堪能してもらった。

4月~



### 8 空堀

#### ほっこりゆったり長屋再生のまち「からほり」を巡る

昔ながらの長屋や町屋…その風情を残したまま、再生した事務所やショップを見ていると、まるで昭和にタイムスリップしたよう。これからも進化していく、古くて新しいまちを体験した。

8月~



### 9 北船場

#### レトロ近代建築とスイーツめぐり

ビルが林立するオフィス街でありながら、カメラの絶好の被写体になりそうな、レトロな近代建築が並ぶまち。近代建築に入るスイーツの店では、甘い物好きな人でなくてもあれこれ目移りしてしまう、夢のあるコースであった。

4月~



### 11 九条

#### 西大阪最大の下町繁華街 買い食いツアー

かつては近代大阪の発展を担ってきたという九条も、今は、長い商店街が続き、気さくに買い物や飲食が楽しめる下町イメージが定着。地元の人たちでにぎわう商店街で、触れ合いと下町の味を堪能してもらった。

4月~



### 12 天満

#### これぞ庶民生活繁華街 商店街&市場をゆく

歩いてても歩いてても終わりが来ないような天神橋筋商店街。日本一の長さを誇る商店街では、次々とおいしいものに遭遇する。にぎやかな界隈を右に左に見ながら、参加者たちは大阪のグルメをたっぷり楽しんだ。

8月~



※プログラムは2009年4月25日(土)からプレ・スタートした。●は開始月。





### 13 中之島

#### 水都大阪のシンボル中之島 ビジネスと文化のつながりをめぐる

中之島は川に囲まれた、文化とビジネスのアイランド。リバーサイドに整備された美しいプロムナードは、市民の憩いの場でもある。近代建築の解説に耳を傾けながら、中之島の魅力と癒しを楽しんでもらった。



8月～

### 15 大正

#### 川に囲まれた下町水辺の楽園ツアー

大阪で最も川を感じる暮らしが根付く大正区三軒家。木津川に架かる大正橋が区名の由来になったように、行き交う船や、沈み行く太陽と川面がつくり出す夕景は見飽きない魅力があった。



4月～

### 17 土佐堀・江戸堀・京町堀

#### 七色の顔をもつ通称三堀 オトナの街をめぐる

高層ビルと路地裏、川と緑豊かな公園、日本一短い商店街、下町と隣接するおしゃれな店など、いくつもの顔をもつまち。大阪ならではの都会風景に触れてみたい参加者にはびつりのコースであった。



8月～

### 14 野田

#### 路地の迷宮と開運パワースポットめぐり

昔ながらの古い家屋や土蔵が残るまち。ユニークなお地蔵さんもここに。そんなまちに語り継がれる「ななとこまいり」を体験。お地蔵さんに、願をかける参加者の顔は真剣そのものであった。



4月～

### 16 福島

#### たぶん日本の路地裏グルメ探検ツアー

大阪駅からひと駅のエリア、福島はグルメの激戦区。日々進化するように新しい店が誕生している。ツアーでは、ちょっと奥まった路地裏に、自分だけのお気に入りの店を見つけるノウハウも。

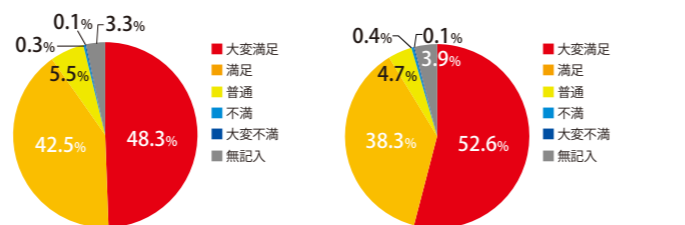


8月～

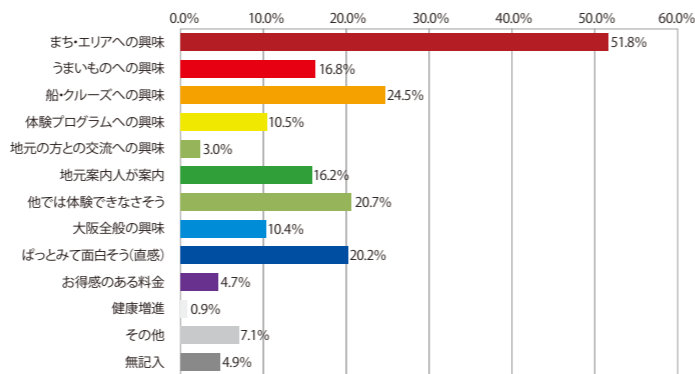
※プログラムは2009年4月25日(土)からプレ・スタートした。●は開始月。

#### ■調査結果(抜粋)

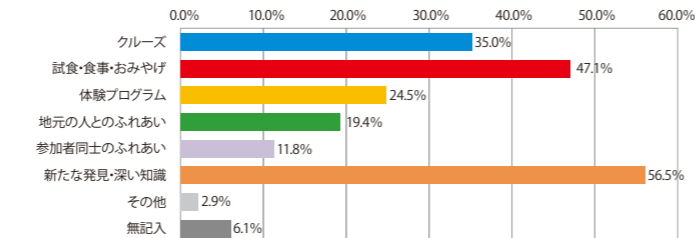
・本日のツアーは総合的にみていかがでしたか? ・エリアクルー(案内人)のまち案内はいかがでしたか?



・申込みしよう!と決められたポイントは次のうちどれですか? (複数回答)



・ツアーの中で満足されたことすべてご記入ください。(複数回答)



#### ●プレミアムプログラム:

高付加価値型の不定期実施プログラム。「水都大阪2009」の期間中(プレ実施含む)には、以下のプレミアムプログラムを実施した

1. 夜明けの大阪・舟で巡る中央卸売市場とご来光カフェ
2. 水上タクシーで行く名橋と老舗の東横堀川クルーズ&ウォーク
3. 水都歴史プレミアムガイドツアー
4. 船で行く太閤園寄席 名園・美食と米園治らくごペラの世界
5. 藤田男爵の愛した美と食ツアー
6. 学芸員とゆくアート満喫企画～アーティストのアジト訪問～

#### ●実績

- ・ツアー参加者: 1,681名
- ・定期プログラム: 16エリア 17コース(2,980円)
- ・プレミアムプログラム: 6コース(2,980円～)
- ・地域の協力者: 約100名
- ・エリアコーディネーター\*: 20名、エリアクルー: 58名

※OSAKA旅∞のコース開発者。地域に精通した方々にエリアコーディネーターになっていただき、その地域ならではの魅力(特色・歴史・食・人など)を盛り込んだOSAKA旅∞独自のコースづくりを行った。

#### ●お客様の声(アンケート結果)

##### ■回答者属性

##### 1. 性別

	男性	女性	無記入	合計
実数	456	883	189	1,528
%	29.8	57.8	12.4	100.0

##### 2. 年齢

	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	無記入	合計
実数	40	170	289	310	263	250	125	81	1,528
%	2.6	11.1	18.9	20.3	17.2	16.4	8.2	5.3	100.0

##### 3. 住所

	大阪市内	大阪府内	大阪府外	無記入	合計
実数	435	506	380	207	1,528
%	28.5	33.1	24.9	13.5	100.0

## 共催プログラム

新聞などのメディアとの共催事業を通じて、効果的な情報発信を行い、より多くの府民、市民に「水都大阪2009」を認知してもらうことを目的としたプログラム。

朝日新聞社などの主催による前期日程では、子どもと中之島の明日を考える集いや、親子で中之島の風景を描く写生大会が行われた。後期日程では、読売新聞大阪本社などの主催による「水辺のにぎわいフェスティバル」として、水辺の自然を楽しみながらのウォーキングやコンサートなど、「みず」「大阪」をテーマとした様々なイベントが開催された。



#### 中之島ウォーク&トーク

##### 第一部 安藤忠雄氏によるレクチャーと平松市長との対談

「平成の通り抜け実行委員会」の委員長を務め、桜の植樹運動をしてきた建築家の安藤忠雄氏と、平松大阪市長が「大阪を元気に」と語り合った。

##### 第二部 「大橋房太郎を知っていますか」

100年前に水都大阪の基礎を築き、治水翁と呼ばれる大橋房太郎の業績にスポットを当てたイベント。房太郎のひ孫の中村扶実さんが作った曲もオーケストラ演奏された。

##### 第三部 子どもたちによる写生大会

正午過ぎからは、中学生以下による写生大会を実施。子どもたちは、思い思いの画材を手に中之島公園一帯に繰り出した。

##### ●第5回中之島ウォーク&トーク対談

##### ●水の都kids写生風景と朝日新聞社賞受賞作品



#### ■中之島ウォーク&トーク

- ・会期: 2009年8月29日(土)
- ・会場: 中央公会堂・中之島公園一帯
- ・主催: 水都大阪2009実行委員会、桜の会・平成の通り抜け実行委員会、朝日新聞社、朝日放送、日刊スポーツ

市民からの募金で川沿いに桜を植え、美しい大阪の創造をめざす「平成の通り抜け」計画。この計画を支援し、子どもたちにも中之島のよさを再発見してもらおうという企画が「子どもと中之島の明日を考えるウォーク&トークの集い」である。今回で第5回目を迎え、親子連れら約860人が参加した。

#### ■水辺のにぎわいフェスティバル

- ・会期: 2009年9月17日(木)～9月20日(日)
- ・会場: 淀川河川公園枚方地区～中之島公園
- ・主催: 水都大阪2009実行委員会、読売新聞大阪本社ほか
- ・協賛: 常翔学園、大阪工業大学、摂南大学、京都女子大学、堺リベラル中学校、日本公認会計士協会近畿会

「人は水とともに生き、水を礎として生きている」をテーマとしたプログラム。淀川改良100年を記念して、「水」について多彩な分野から学ぶイベントをはじめ、ウォーキング、水辺での遊び、ミュージックライブなど、文字通りにぎやかに行われ、大人から子どもまで水辺のお祭りを楽しんでもらった。



#### 水辺のにぎわいフェスティバル

##### ●みずウォーク2009水都大阪大会

キャッチフレーズは「水辺の自然に親しみながら健康づくり」。参加者は大阪の歴史的景観や豊かな自然を楽しみながら、淀川河川公園から中之島公園まで約23キロを歩いた。

##### ●水辺のにぎわいウォーク

大阪市立の美術館・博物館・動物園の共同キャンペーンである「ミュージアムウィークス大阪2009」などと連携し、様々な「楽しみ」を加えたウォーキングイベント。

##### ●「水辺の学校」を楽しもう

水辺を舞台に、工作教室や手こぎボートの試乗会、昔なつかしい遊びなど、実際に体験しながら学べる小さな学校が多数開校された。

##### ●水辺の栄養クリニック(京都女子大学)

##### ●水辺の自然教室



## 「水都大阪2009」を盛り上げたその他の取り組み



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

「水都大阪2009」のプログラムの他にも、様々な団体が参加し、「水都大阪2009」をいっそう盛り上げてくれた。



⑩



⑪



⑫



⑬

### ①～⑥ 水辺のバザール

日本建築家協会近畿支部住宅部会が設計・建築した「フレーム & フレーム」に多国籍の屋台(プロデュース:FMCOLO 765)が並んだバザール。安価でおいしい料理がたっぷり味わえた。

### ④ せのや

ハンカチやTシャツなど、「水都大阪2009」のオリジナルグッズを販売した。

### ⑥ ミスト

大阪市水道局による水を利用した自然のクーラーは大人気。ライトが灯る夜も、美しさに花を添えた。

### ⑦ 噴水

30分ごとに放水される中之島公園の大噴水は、「水都大阪2009」のメイン・シンボルの一つ。

### ⑧ 「ほんまや」

高度浄水処理水を加熱殺菌した、なにわ育ちのおいしい水。自動販売機も大活躍。

### ⑨ エコステーション

ゴミはこの一カ所ですっかり分別。川的美しさを守る意識づくりに一役買った。

### ⑩ ラバー・ダック

八軒家浜に現れた巨大あひるは、大人にも子どもにも大人気だった。

### ⑪ ローズカフェ

辻学園調理・製菓専門学校が運営していたローズカフェはいつも満員だった。

### ⑫ 舟運事業

大川や水の回廊を行き交う船は、まさに水都大阪の象徴である。

### ⑬ カヌーベース

川面に浮かんで、水都大阪を満喫。都会の真ん中に、カヌーベースが出現した。